学校目標 「やる気いっぱい」やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」

横浜市立蒔田小学校だより

平成28年度



2月号

平成29年 1月31日

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/



「笑顔であいさつ」

副校長 芦垣 康志

今年度児童会で決めた蒔田小学校のキャッチフレーズは「いつでも全力 心を一つに 笑顔であいさつ 蒔田っ子」です。子どもたちは普段の学校生活や様々な行事に向けてこの合言葉を意識しながら真剣に力を合わせて取り組み、たくましく成長してきました。朝、登校の様子を見ていると『笑顔であいさつ』を心がけている子どもたちがたくさんいて、とても感心しています。私は毎朝、子どもたちからのあいさつで元気をもらっています。元気に「おはようございます。」とあいさつをしてくれるととてもうれしくなります。また、あいさつがかえってこないと「調子が悪いのかな。」と心配になることもあります。

あいさつについて考えてみると、よいことがいろいろあります。まず、あいさつをすることで気持ちのよい一日のスタートが切れます。あいさつを交わすことで笑顔になり、気持ちも前向きになります。心と体はつながっています。いやなことがあった時に笑顔を作って大きな声であいさつをしているともやもやした気持ちがいつの間にか晴れてくることもあります。

挨拶という言葉の語源は『一挨一拶(いちあいいちさつ)』で、禅宗の問答に由来した言葉なのだそうです。「挨(あい)」は心を開いて近づく、「拶(さつ)」も同様に、迫る・近づくという意味があります。つまり「心を開いて相手に近づく」という意味があるのだそうです。また「おはよう」の語源は「お早いですね。ご機嫌はいかがですか。」という思いやりの意味を込めた言葉なのです。「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」等の普段のあいさつも相手への思いやり、敬意、感謝の気持ちがこめられた言葉だそうです。

将来、社会に出て活躍していく子どもたちに身に付けさせたい力として、『生きる力』があります。これは社会の中でいろいろな人と関わりながら情報を収集し、問題解決を図り、より良く生きていく力と定義づけられます。よりよい人間関係を築いていくことは生きる力を身につけることになるのだと思います。人と関わりをもつときはほとんどがあいさつから入ります。あいさつはコミュニケーション力を身に付けるための第一歩なのではないでしょうか。

毎日交わしているあいさつも意味や良さについて考えてみると、また楽しくできるのではないでしょうか。学校では引き続き、あいさつが上手にできる蒔田っ子を育てていきたいと思います。ご家庭でも子どもたちへの「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」等の言葉かけをよろしくお願いします。